

館長あいさつ

みなさん、こんにちは。令和4年度は徳川光圀公による侍塚古墳発掘330年という節目の年ということで、企画展「日本考古学発祥の地」や佐良土上の原Ⅱ遺跡の発掘、さらには「大田原市歴史と観光シンポジウム」の開催などで忙しい1年となりました。その間、多くの関係者の方々にはご協力を賜り、誠にありがとうございました。新年度には博物館法も改正され、我々学芸員も新たな気持ちで活動していく所存ですので、ご指導のほどよろしくお願いたします。(上野修一)

侍塚古墳発掘、330年!



当資料館の展示の主要テーマのひとつであるのが、「江戸時代における那須国造碑の発見と、侍塚古墳を舞台に行われた日本で初めての発掘調査」です。本年度は、元禄5年(1692)に徳川光圀の命を受け、家臣である佐々介三郎宗淳、そして小口村(現那珂川町)の里正・大金重貞が行った発掘調査から、330年にあたります。江戸時代に那須国造碑が発見され、大金重貞の記した『那須記』からその存在を知った光圀が、那須国造碑の調査・保護事業を進め

現在の侍塚古墳 中で、侍塚発掘に着手しました。昨年秋にはこれを記念して、「なぜ日本で初めての学術調査と言えるのか」、「なぜ日本考古学発祥の地と言えるのか」を裏付ける資料を総括した

記念特別展も実施しました(詳しくは3ページへ)。侍塚古墳や那須国造碑は、それぞれが那須地域の歴史を語るうえで重要な文化財ですが、それらが江戸時代の発掘調査でつながり、現代まで続くストーリーとして残っていることが、大田原市、そして湯津上地区の大きな魅力なのです。(鈴木志野)

今年はこんなことがありました

なす風土記の丘資料館では…

従来の展示会などに加えて、夏休みイベントを開催しました。大田原市内の羽田長者ヶ平遺跡で発見された本物の縄文土器片を使い、模様を和紙に写し取ってつくるオリジナルしおり作りや、大田原市を代表する縄文土器や土偶をデザインしたオリジナル缶バッジづくりを行いました。小・中学生を中心に、大人のお客様にも遺跡を身近に感じていただけました。

令和元(2019)年から実施している学術発掘調査では、昨年度に奈良・平安時代の区画溝跡が確認されたことで、引き続き佐良土上の原Ⅱ遺跡の発掘調査を実施しました。その結果、官衙に関連する遺跡と考えられていましたが、さらに内画にも区画溝跡があることが確認できました。那須地域の古代の様相がさらに明らかになる重要な遺跡であると考えられます。(詳しくは5ページへ) (鈴木志野)

歴史民俗資料館では…

今年度、歴史民俗資料館では毎年恒例となったサツマイモづくり、企画展や常設展示の一部を季節ごとに入れ替えるコーナー展示などを行いました。また、「ふるさと再発見講座」として佐久山宿を歩くウォークや壬生町立歴史民俗資料館の中野正人氏を招いて栃木県の医療史や医療者たちについての講演会を、なす風土記サロンの一環として開催しました。

その他、佐良土地区で行われている祭礼を一年を通して調査させていただきました。昨年度に引き続き、地域の皆さまからたくさんのお話を学ばせていただきました。

なお、歴史民俗資料館は収蔵資料整理のため、令和5年・6年度は展示室を休ませいたします。貴重な資料を整理・調査研究して、また皆さまに見ていただきたいと思っております。(宮澤友美)

なす風土記サロン「ふるさと再発見講座」

ボランティア受入講座なす風土記サロンに組み込む形で、「ふるさと再発見講座」を2回開催しました。第1回は人気の屋外講座。文化振興課市史編さん係の山川千博学芸員を講師として、「城郭を歩こう—佐久山編—」、第2回は壬生町立歴史民俗資料館学芸員の中野正人氏を招いての講演会「下野のヒポクラテスたち—壬生・大田原を中心に—」を実施しました。

第1回の「城郭を歩こう—佐久山編—」では、御殿山公園（佐久山城跡）と城下町約4kmのコースでした。実相院の福原氏墓所や本陣跡、御古屋敷跡など、山川学芸員の解説で歩きました。その他、島崎酒造にも寄り、現当主の方よりお話をいただき、敷地内や明治・大正期に建てられた建物内の一部を見学させていただき、盛りだくさんな内容の講座となりました。



なす風土記サロン島崎酒造見学の様子

(宮澤友美)

講座 見て、さわって、訪れて

当館では、資料館イベントとして実施しているボランティア受入講座『なす風土記サロン』だけでなく、出張して那須地域の歴史を解説する出前講座を随時行っています。

本年度は、湯津上地区の小・中学校をはじめ、各地公民館やボランティア団体からの依頼を受けて、館長や当館学芸員が出前講座にうかがいました。縄文時代から古代にかけて、那須地域の歴史や江戸時代の日本初の発掘調査についてわかりやすく解説するだけでなく、特に小・中学校の出前授業では大田原市で所蔵する様々な時代の土器や石器をお持ちし、職員が監督する中で実物を見て、触れて、体感いただくプログラムを用意しました。歴史解説後には、古墳や遺跡など現地に赴き見学するなど、現地を見ることでさらに理解を深めていただくことができます。「本物」と実際に近い距離で出会えるのが資料館の魅力であり、地域資料館だからこそできる体験です。出前講座についてご興味のある方は、随時ご連絡ください。

次年度も引き続き、多くの方に「本物」を体感していただけるよう、様々なイベントや企画展、講座を実施して参ります。

(鈴木志野)



出前授業での様子



出前授業での様子

大田原市なす風土記の丘湯津上資料館

国指定史跡・侍塚古墳、国宝・那須国造碑を中心に、日本で初めての発掘調査と、大田原市内で発見された資料を展示している考古資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上192
TEL 0287(98)3322 FAX 0287(98)3323

E-mail fudokiyuzukami@city.ohatawara.tochigi.jp

URL <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/docs/2013082772084/>



大田原市歴史民俗資料館

昭和30年代、湯津上地区で実際に使用されていた農具や民具を中心とした、大田原市内の民俗芸能を扱う民俗資料館です。

〒324-0403 栃木県大田原市湯津上194

TEL 0287(98)2151

URL <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/docs/2013082772237/>

